



2018・12・1

第 325 号

101-0065 東京都千代田区
西神田 2-5-7 神田中央ビル 303

TEL 03-3221-5075

FAX 03-3221-5076

国会会期末に向け安倍暴走への監視と抗議を

改憲案審議入りに執念燃やす

自民党は 29 日、立憲民主、国民民主、共産、社民ら野党 6 党・会派が抗議・欠席するなか（維新、希望、未来日本が出席）、衆院憲法審査会の開催を強行しました。あくまでも今国会で改憲案の論議に入りたいとする安倍首相の強い執念にもとづくものと報じられています。

この日の会議は新しい幹事を選任するにとどまりましたが、自民党内には国民投票法の改正案は先送りするとしても、今国会会期中で残されている 12 月 6 日の審査会定例日には何とか自民党改憲案を提示したいとの声がおさまっていません。

署名達目標達成へ 地域総なめ

【さいたま市緑区／九条の会緑区連絡会】 九条の会緑区連絡会は、7 月～8 月、厳しい暑さにもめげず 2 つの駅で「9 の日」宣伝行動やスーパー前でのスタンディングを実施、毎週区内のどこかで安倍 9 条改憲 NO ! の声を上げてきました。

そして 9 月の連絡会では「臨時国会を改

憲論議の場にさせない」との九条の会アピールに応え、「3000 万人署名」目標をやりぬこうと 9 月～11 月に「19 日行動」の一環として第 2 次「ポストイン&訪問行動」を計画しました。6 つの地域で計 6 回 [9 月 19 日：中尾・美園地域、10 月 19 日：原山・三室地域、11 月 19 日：みぬま・尾間木地域]、約 2200 軒への署名のポストイン・回収に延べ 129 名が参加して、322 筆の署名（内 40 軒が署名を入れた封筒をポストに）を集めることができました。事前の準備に参加した人を加えると約 180 名が参加した一大行動となりました。

その結果、11 月 27 日現在の署名数は 5594 筆、目標の 5700 筆まであと 106 筆（98%）となりました。この特徴は、6 つの九条の会が担当地域の事前の準備に責任を持ちつつも、回収訪問行動は緑区連絡会の全体の力を集中したことで毎回 20 人前後が参加して、連帯・激励の場として大きな意義があったと思います。おそらくこのような行動がなければ、9 条改憲に反対する意思を持っていても署名する機会もない方々を訪ねることができなかったと思います。19 日が

いずれも平日だったこともあり、若い世代は留守も多く、土日に訪問した方がという意見もありました。

なお、緑区連絡会も参加するオール緑区の会は、3万の目標に対して26967筆(90%)、有権者(10万弱)の3割まであと一步にこぎつけました。

「九条の会」の真価を今こそ発揮すべき時だと思います。9条改憲の危機を断ち切り、憲法が真に生きる、豊かで穏やかな日を願いつつ、みんなで力を合わせ「3000万署名」達成に力を尽くしたいと思っています。(緑区在住・大石一之)

高校・大学門前の署名が350筆

【京都府／市民アクション、共同センター、1000人委員会】 戦争法廃止や安倍9条改憲ノーなどを訴える毎月定例の行動が19日、京都市役所前(京都市中京区)で行われ、460人が参加しました。参加者は、四条河原町までの繁華街を行進し「憲法壊すな」などと唱和しました。

市役所前のリレートークでは、「九条の会・醍醐」や「左京市民アクション」のメンバーらが3000万人署名の取り組みを発言しました。

「左京市民アクション」の坂東利博事務局長は、左京区内にある高校・大学の門前で集めた署名が350人以上にのぼるとし「生徒によりそいながら話しかけると足をとめてくれる。門前宣伝も続けながら署名目標を達成したい」と決意を述べました。

憲法9条京都の会の小笠原伸児弁護士は「参院選で国民投票という日程がねらわれている。まず憲法審査会で絶対に議論させ

てはいけない。3000万人署名をもうひとまわり広げよう」と語りました。

デモは毎月、「京都憲法共同センター」、「戦争をさせない1000人委員会」、「市民アクション@きょうと」が共同でとりくんでいるものです。

県内10ヵ所で一斉行動

【滋賀県／市民アクション滋賀】 「安倍9条改憲NO!市民アクション・滋賀」が呼びかけた3000万人署名宣伝が19日、県内10ヵ所で行われました。

大津市の京阪大津京駅前では、「安保関連法(戦争法)なくそう!JR大津京駅周辺住民の会」や地域の9条の会、共産党、社民党などの21人が参加。通行中の市民が足を止め、「9条は変えない方がいい」などと言ってペンを走らせました。

共産党県委員会の坪田五久男書記長は、饗庭野(あいばの)演習場から発射された砲弾が市民の車を損壊させた事件について「とんでもないことだ」と批判。「憲法9条に基づく平和外交こそが、日本政府がやるべきことだ」と力を込めました。社民党県連の沢田享子幹事長は「市民と野党が力を合わせて、憲法9条を変えないでくださいという署名を」と協力を呼びかけました。

「安倍首相に腹が立つ」と署名

【福井県／総がかりアクション】 「戦争する国づくり反対!福井総がかりアクション」は19日、福井市でスタンディング・署名に取り組みました。

屋敷紘美代表らが横断幕を広げてアピール。「自衛隊を憲法に書き込む改憲に反対す

る行動に共に声を上げてほしい」と呼びかけました。

3000万人署名に応じた男性は「安倍首相に腹が立つ。早く辞めてほしい」と憤りの気持ちを表しました。立ち止まって宣伝を見ていた女子高校生（18）は「授業で、戦争を起こさないようにするにはどうしたらいいか憲法に書いてあると学んだ。憲法を変えるのはよくない」と話しました。

多額の税金は国民のために

【静岡県／しずおかアクション】 「戦争法廃止オールしずおかアクション」は19日夜、戦争法の廃止、安倍9条改憲反対などを訴える宣伝とパレードを静岡市葵区で行い、約30人が参加しました。

「安保法制に反対する静岡大学有志の会」の山本義彦氏（名誉教授）、鈴木氏らが、「憲法9条は世界に誇るべきもの。安倍9条改憲を国民世論で阻止しよう」などと訴えました。

署名の呼びかけに応えた女性（26）は「憲法を変える必要を感じない。改憲のために多額の税金を使うくらいなら、私たちの生活をよくするために使ってほしい」。19歳の男性は「国民のことを何も考えていない政治は、もうやめてほしい」と署名しました。

パレードでは「戦争法は今すぐ廃止」「9条壊す政治はいらない」などと繁華街を歩き、市民の注目を集めました。

憲法守らない政治は独裁への道

【高知県／憲法アクション】 高知憲法アクションは19日夕、高知市の中央公園北口で集会を開き、約40人が参加しました。

呼びかけ人の山下久人氏が基調提案し、原発再稼働を進め、名護市辺野古への米軍新基地建設を強行するなど民意無視の安倍政権を厳しく批判。改憲阻止のため3000万人署名を推進しようと呼びかけました。

呼びかけ人の田口朝光氏は「安倍首相が憲法99条の憲法遵守義務を投げ捨てて憲法を変えようと国会でよびかけたことは許せない。日本が独裁国家への道、戦争への道を歩み出すことになる」とのべ、「安倍首相の改憲の狙いを阻止しよう」と訴えました。

「一票で変える土佐の女たち」の泰泉寺あやさんが憲法紙芝居「檻の中のライオン」を演じました。

初めて参加した女性（73）は「すべての人が住みよい社会にするために、憲法を変えてはいけない」と話しました。

国民投票法の危険性を確認

【宮城県／みやぎ憲法九条の会】 憲法9条を守り生かすつどいが18日、仙台市で開かれました。弁護士の伊藤真氏が講演し、9条に自衛隊を明記する安倍改憲案の危険性を示し、1200人の市民が聞き入りました。

主催したみやぎ憲法九条の会の山形孝夫共同代表から紹介された伊藤氏は、安倍首相の「自衛隊を明記するだけで、9条は変えないから何も変わらない」との発言に対し、「うそはいけない」と批判。憲法に明記することで自衛隊が国会や内閣、裁判所と同等の組織に格上げされ、「国民の安全」のためという名目で戦争し、人権の制限もできるようになると警鐘を鳴らしました。

憲法改正国民投票法の問題点を列挙し、発議をさせないことの重要性を強調。3000

万人署名をやり抜き、「萎縮しないで、声を上げ続けることが大切だ」と訴えました。9条を守ろうと訴える集会アピールを満場の拍手で採択しました。

憲法と9条生かした国づくりを

【秋田県／仙北市九条の会】 「仙北市九条の会」(信田幸雄代表)は18日、憲法学習会を開き、治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟県本部の最上健造会長が「九条改憲とイージス・アショア配備、安倍首相のねらいは何か?」と題して講演しました。

最上氏はアジア・太平洋侵略戦争の惨禍と反省、平和への願いが日本国憲法の土台になっていることを、9条をめぐる国会論議にふれて説明しました。「権力をしばり、戦争で一人も殺し殺されることがなかった72年の実績こそ、憲法と9条の力。軍備増強ではなく、憲法と9条を生かした外交こそ日本がとるべき道だ」と強調。「3000万人署名、市民と野党の共闘を進め改憲・陸上イージスを阻止しよう」と訴えました。参加者から「オスプレイの飛行、陸上イージスは人ごとではない」「改憲阻止運動をさらに広げよう」などの発言がありました。

アメリカ言いなりの政治を批判

【島根県大田市／総がかり行動実行委員会】 大田市の総がかり行動実行委員会は19日、市民と野党の共闘で安倍政権の退陣を求める集会を商業施設前で開きました。

リレートークで同実行委員会の宮脇康郎さん(70)は、安倍首相が消費税の10%への増税を表明したことを批判し、「家計の負担が増し、貧困と格差を広げるのは火を見

るより明らかなだ」と訴え。

「大田市民アクション」事務局員の福田隆昌さん(78)は、ドイツやイタリアなど世界の国々が米軍の行動に制限をかけていることを紹介し、在日米軍について「日本は何も文句を言えない。アメリカいいなりの政治を変えよう」と呼びかけました。

買い物をしていた男性(80)は「沖縄県知事選で民意が示されました。新基地建設はやめるべきです」と話しました。

短 信

【宮城県／名取九条の会】 全県に大型看板を設置して「安倍9条改憲反対」を広く訴えようと、宮城県内九条の会の呼びかけで各地に設置がすすんでいます。名取では七十七銀行増田支店駐車場脇と増田小学校西側市道沿いに設置してある看板を大きな一枚物に替えました。スローガンは「守るぞ!! 平和 自衛隊員の命 名取九条の会」(「名取九条の会ニュース」NO57)

【岡山県津山市／総がかり行動実行委員会】 まだ夏の暑さの残る19日、5時の始まりは60名程の参加者でしたが、仕事を終えた参加者が駆けつけ100名程になりました。

ブラカードや横断幕のぼりで埋められました。メッセージも、九条守れ、戦争法廃止、安倍さん麻生さんアウト、1日8時間・週40時間働けば普通に暮らせる世の中に、など多彩になりました。

毎月19日にはスタンディングを続けています。これから寒くなりますが暖かくして参加しましょう。4時からです。(「津山九条の会」第74号)